

わき

議会だより

交通安全
パレード

第126号 2022.2.1

子育て世帯に10万円支給 p 2・3
町内の課題 もっとくわしく... p 4・5
私たちの飲料水は
どこから来るの? p 6・7
一般質問 p 8~11
自治会長インタビュー p 12



12月
定例会子育て世帯臨時特別給付金を
年内一括10万円支給

18歳以下の対象児童に対して5万円の給付から追加決定

12月定例会は12月8日から20日までの13日間の会期で開かれました。
議会は令和3年度補正予算や条例制定など、議案8件、発議1件、報告1件を原案のとおり可決しました。一般質問には4名が登壇し、行政全般にわたる議論を展開して、町政を問いました。

補正予算

*子育て世帯臨時特別給付金、所得制限の960万円の取扱いは
・臨時議会にて6155万円の補正(全会一致で可決)
・12月定例会にて6065万円の補正(賛成多数で可決) 賛成8反対1

問 所得制限をするとの説明を受けた。該当者が少ないにもかかわらず所得制限をした理由は。(中村議員)

答 あくまでも、政府の当初方針に従ってやると決めた。

問 対象者へどのように知らせるのか。
(栗本議員)

答 12月22日に支給決定通知書を送付し、町のホームページや和木ちゃんねる文字放送にて周知する。



子どもたちの未来に10万円

問 健康管理システム機能強化業務委託料357万円増額
どのような内容か。
(森脇議員)

答 がん検診等の情報についてマイナナンバー制を活用しマイナポータルで閲覧できるように、システム改修を委託する。



*こども園に入れない0歳・1歳児はどうするのか
地域型保育給付費 166万円増額

問 6月に3名分の補正をしたが、今回新たに1名追加となった。4名の子どもを他市町に預けた理由は。
(灰岡議員)

答 こども園の定員がいっぱいで受け入れられなかった場合と、希望された場合がある。

地域型保育事業

平成27年からスタートした「子ども・子育て支援新制度」のなかで、保育ニーズの高い0歳〜2歳児への対応を目的として設けられた小規模の保育事業。

問 内容を問う。
(嘉屋議員)

答 修繕料100万円の増額は、冬を迎えるにあたり舗装の剥がれや陥没、道路施設の修繕のために増額した。町道改良工事200万円は、和木3丁目において工事を進めている町道通津開浜開線外道路改良工事に伴う騒音や振動、住民の利便性を図るために施工方法を変更するため。



和木3丁目の町道改良工事

道路維持管理事業100万円・町道改良工事200万円増額

地域づくり推進事業助成金
200万円



助成金が充てられる地域振興協会

ICT教育推進 基金条例の制定

ICT教育に支援員を1名
雇用 536万円増額

問 ICT教育推進基金
を作り、支援教員の雇
用をする目的は何か。

答 タブレットを使用し
た授業の指導案、指導
カリキュラムの作成における
助言、資料教材準備の補助、
ソフトウェアの操作支援などであ
る。



タブレットをこどもたちの授業に活用

臨時議会

職員・町長・議員の

期末手当引き下げを

可決

臨時会は11月29日開かれ、子育て世帯臨時特別給付金給付事業6155万円（1人あたり5万円）を全会一致で可決、職員給与の引き下げに関する条例改正は賛成7名反対2名の賛成多数で可決しました。

問 人事院勧告による条例改正だが、職員の評価を下げることにについてどう考えているか。

答 職員の給与を引き下げるのは苦しいところだが、本町だけがするのではない。上げる時も下げる時も、勧告に準じてやっていきたい。

子育て世帯給付金の対象は。

問 （上田議員）
今回は5万円支給で、1213人を見込んでいます。中学生以下1011人、高校生が174人、令和4年3月末までの出生予定が28人である。

新たな議員への「なり手」を後押し
議員のなり手不足の解消に向けて

全国的に議員のなり手不足が問題となり、本町でも令和元年の改選で無投票となった。こうした状況を踏まえ、議会は議員活動と家庭生活の両立支援策をはじめ、男女の議員が活躍しやすい環境を整備するため、会議規則の改正を行った。

改正内容
（欠席の届出）

○議員は、事故のため出席できないときはその理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。

公務 傷病 出産 育児 看護 介護
配偶者の出産補助 その他のやむを得ない事由

○議員が出産のため出席できないときは、日数を定めてあらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

← 出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合は14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして

○請願書の記載事項等

請願者の住所及び氏名を記載し、押印しなければならない。

← 請願者の住所を記載し、請願者が署名又は記名押印



教育

コロナ禍での学校生活は

(小林委員)

問 受験生の授業の遅れはないか。リモート学習はどのように展開されているか。

答 全学年の授業に遅れはない。中学校では定期考査前に「質問タイム」という補講的な学習時間を設け実施。リモート授業は、校内で実施しているが、不登校の生徒は家庭のネット環境等を調査中。リモートでの関わり方を模索したい。



中学生授業風景

小中学校へ配布されるタブレット

(森脇委員)

問 予定どおりに行われたのか。使用状況と問題点は。

答 令和2年度末に小学校448台、中学校200台導入。本格的な稼働は教材ソフトを使い2学期から行っている。課題は教員の活用能力向上研修が必要で、近隣や先進地の例を参考にし、より良い活用方法を模索する。

こども園の途中入園、希望者多数

(灰岡委員)

問 年度途中の入園希望者が定員に達しているために入園できないケースが多かったが、今年度の状況は。

答 0歳児(12名定員)は年度途中の希望は5名で、既に定員に達していたため、入園できなかった。
1歳児(24名定員)は、定員を超えて入園希望があったのは10名で、そのうち8名が広域利用で他市町の保育施設を利用して。2歳児は、1名、3歳児以上は全ての利用希望を受けている。

防災

大規模災害へ備えて

(森脇委員)

問 各地で地震が多発しているが、大きな災害(南海トラフ等)に備えて情報収集は。

答 地質調査が終わり、現在の進捗状況は。令和2年度、住民説明会を開催。令和3年度は、用地測量を行い、境界確認を行った。令和4年度には、用地買収を行っていく予定。

他市町村への委託保育料

	当初額	6月補正額	9月補正額	12月補正額	3月補正額	千円 流用・予備費	円 決算額
平成28年度	16,890	0	1,606	1,275	1,627	0	21,221,430
平成29年度	22,409	0	0	1,592	1,555	0	24,464,750
平成30年度	25,924	0	0	2,645	2,996	1,408	32,972,380
平成31年度	26,021	0	0	0	4,658	3,450	34,128,730
令和2年度	23,022	0	0	13,755	0	0	32,906,280

※令和2年度決算額は、決算書上は地域型保育給付費 559,800 円分を含む。



全国瞬時警報システム (JRアラート)

答 地震及び津波の発生又は、緊急地震速報・津波警報として収集。消防庁を経由した全国瞬時警報システム(Jアラート)による町防行政無線からの自動放送、和木町防災メール、緊急エリアメール等による情報収集体制となっている。

蜂ヶ峯公園への防災道路

(上田委員)



委員会 NOW

生活・環境

バラ園前にユニバーサルデザイントイレを (嘉屋委員)

問 費用対効果を考えているのか。設置工事費用の詳細は。

答 旧バラ園トイレは、老朽化が著しく高台にある。新規にユニバーサルデザイン、景観にも配慮した清潔感あふれるトイレとすることで公園利用者の満足度は非常に高まると考えている。工事費の設計金額は直接工事費合計が3140万円、共通仮設費250万円、現場管理費540万円



バラ園のトイレがきれいに

円、一般管理費が570万円、消費税額が450万円、合計設計金額は4950万円となる。しかし石油備蓄交付金事業の対象となったことで町財政に与える影響は少ないと考えている。

好発進Bee+(ビープラス)新遊具 (津島委員)

問 新しく増設された遊具に関して不具合や事故の報告は。地域振興協会の財源ともなる「ふわふわドーム」の利用状況は。



子どもたちに大人気 ふわふわドーム

答 今のところBee+エリア内の遊具で、利用者の事故が起きたという報告は

受けていない。

「ふわふわドーム」は11月末現在で、約1万2千人の利用があり、約340万円の売り上げ。コロナ禍で休止期間があったが、予想(300万円)を上回る売り上げとなっている。

下水道公園に遊具設置を (上田委員)

問 町民から下水道公園に遊具を設置する要望書が出されたが、検討状況は。

答 令和2年8月に要望があり検討したが、他の街区公園に比較して遊具が少ない状況ではないことや、今後下水ポンプ場の改築や大規模修繕の際の作業ヤードを想定していることなどの理由で、令和3年度の設置は行わず、今後の検討課題とすることを本年2月に沖灰場自治会長に回答した。

貴重なライフライン下水道事業 (兼本委員)

問 仮設圧送管の除去工事の予定と費用はどうなる

のか。また、ポンプ場の改築・改築予定は。

答 仮設管と破損した既設管は、令和4年度と5年度の渇水期に工事を行う予定。2ヶ年の概算事業費は約1億6千万円程度となる見込み。(9300万円が既設管、6700万円が仮設管の撤去。)

和木ポンプ場は昭和49年に供用開始し、老朽化が進んでいる。定期点検を行い、必要となる改修工事を実施していく。全体的な改築事業は、大きな事業費が予測されるので、慎重に改築計画を策定する。



供用開始から47年 下水道ポンプ場

私たちの飲料水はどこから来るの？



錦川 (錦帯橋)



表流水

河の表面を流れている水

和木町の水道水は4種類の水源（小瀬川・関ヶ浜川・大谷川・錦川）から来ています。小瀬川と関ヶ浜川・大谷川の水は簡易水道として瀬田・関ヶ浜地区に、錦川の水は岩国市水道として和木1丁目～5丁目に、簡易水道として蜂ヶ峯団地に供給されます。

※簡易水道とは、給水人口が5000人以下の小規模事業で、5000人を越えるのは上水道事業とします。水道料金の計算に違いはありません。



小瀬川

伏流水

河床の浅い地下水

和木町簡易水道

県から買う水の料金
257万円 (R2年度)

水をきれいにする所
瀬田浄水場

岩国市水道



和木町

水を山上に
押し上げる
山の手ポンプ場

岩国市から買う水
約2万8000トン (年間)
水の料金
690万円 (R2年度)

和木1丁目～5丁目

約15万トンの水を供給 (年間)

山口県工業用水

関ヶ浜川

大谷川

関ヶ浜浄水場

大谷浄水場

関ヶ浜1丁目一部

大谷地区

和木町簡易水道の運営状況 (R2年度)

- ① 供給単価: $\frac{\text{料金収入 (20,483千円)}}{\text{年間有収水量 (178,575m}^3\text{)}} \approx 114\text{円}$
※有収水量1m³あたりどれだけの収入があるか。
- ② 給水原価: $\frac{\text{総事業費 (28,262千円)}}{\text{年間有収水量 (178,575m}^3\text{)}} \approx 158\text{円}$
※有収水量1m³あたりどれだけの費用がかかっているか。
- ③ 料金回収率: $\frac{\text{供給単価 (114円)}}{\text{給水原価 (158円)}} \times 100 \approx 72\%$
※給水に係る費用がどの程度給水収益で賄えているか。
※料金回収率が100%を下回っている場合、給水費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。

Q 本町の水道料金は高いのか 安いのか

こばやし ひでよし
小林 秀嘉 議員



都市建設課長 県内では2番目に安い料金である



瀬田・つつじヶ丘へ水道水提供

質問 和木地区は岩国市から水道水を買ひ、瀬田・関ヶ浜地区は小瀬川から取水している。何故そのようなになったのか。

課長 和木町の上水道は、和木地区は岩国市水道局、瀬田・関ヶ浜地区は簡易水道として和木町が事業主体となっている。和木地区は昭和36年より岩国市から上水道の供給を受けている。その当時は、山口県が工業用水道施設を整備する事業を進捗しており、小瀬川から大量の取水を行うことから、和木地区の井戸水が枯渇する恐れがあつた。

た。その問題を解消するため、山口県が岩国市に和木地区への上水道の供給を依頼した。

質問 瀬田・関ヶ浜地区の簡易水道は、今後老朽化して更新しなければならぬと思われがいか

課長 瀬田・関ヶ浜地区は昭和38年に供用開始して、老朽化が進み、施設の適正な維持管理と更新計画の策定が必要な状況となっている。現在の給水人口に対して改築事業費が多くなることから、単独での改築以外の方法も視野に入れながら、慎重に検討を進めている。

質問 和木町の水道料金は高いのか安いのか。県内及び大竹市や廿日市市の水道料金はいくらか。

課長 基本的な水道管の口径を20mm、1ヶ月の使用水量を20m³で比較する

と、和木地区の料金は、1865円で県内では下松市の1365円に次ぎ2番目に低い料金であり、大竹市は2112円、廿日市市は3173円となっている。本町は、全国的にみても安い料金だと思う。

質問 水道料金はどのような計算方法になっているのか。

課長 水道事業は、水道の料金収入で運営を賄うという独立採算制が原則であり、給水原価（水道水を作る費用の単価）に応じて使用料金を設定することが通常。和木町は、和木地区が岩国市水道局の給水区域であり、町内を同一の料金にする考えから、岩国市水道局と同額の水道料金としている。

質問 簡易水道事業の広域化の検討が必要ではないのか。

課長 山口県では「山口県水道基盤強化連絡

協議会」が設立され、広域連携のシュミレーションなどを行っている。本町もこの協議会に参加し、協議検討を行っている。

質問 瀬田・関ヶ浜地区の簡易水道の今後は。

町長 水道は町民の皆様なライフラインであり、将来的にも安定して水道水を供給していく責務がある。瀬田・関ヶ浜地区の簡易水道は昭和38年に運用を開始して58年経過している。近い将来改築が必要である。少ない給水人口に対して大変厳しい事業費になると予想される。広域化等の多角的運営方法も視野に入れつつ、中長期の経営安定化を考慮しながら慎重に整備計画を進めていきたい。



給食センターの 建て替えが急務では

もりわき あけみ
森脇 明美 議員



町 長 財政事情を考えながら取り組んでいく

質問 給食センターが建設され45年の月日が経っており、調理室の施設や調理器具の老朽化も著しく、毎年のように給食センターの修繕費や工事が計上されている。過去5年間の修繕費と工事を伺う。

**整備委員会
事務局 局長** 修繕費の5年間の合計は608万円、工事は678万円。

質問 新しい給食センターは、センター方式を採用し施設の床についてはドライシステムの床を採用するの。

事務局 局長 センター方式を採用する予定で、床についてはドライシステムを採用する予定。

質問 ドライ方式にした場合約900食の給食を作るにはどの位の面積の土地が必要か。

事務局 局長 最新の機器の導入や駐車場などの事を考えると現在の敷地面積以

上の広さが必要ではないかと考えている。

質問 運営方法は現状のように公設公営にされるのか、又、町財政の負担軽減の為、公設民営等の官民連携手法を活用されるのか。

事務局 局長 公設民営化では委託料が発生、外注弁当では対応出来る業者が近くに居ないこと、民間の給食センターは遠方であることから、現状では、公設公営で行うことが最適だと考えている。



建て替えが急がれる給食センター

質問 町長に建て替えの考え方を問う。

町長 財政事情を勘案し、安全で安心で美味しく安定的に供給できるように検討し、建て替えを進めて行きたい。

*町の空き家対策は

質問 空き家に関する担当窓口はどこか。

企画総務課 課長 相談の問い合わせがあった場合、最初の窓口は企画総務課で受け取る。空き家に関する窓口と言っても内容は多岐にわたるので、話を聞いて最適と

思われる担当部署に繋ぐ。空き家バンクに関するところは企画総務課、空き家の所有者調査は税務課、空き家の衛生状態に関する事は住民サービス課、危険空き家の解体や除去に関する相談は都市建設課で受ける。

質問 災害リスクへの備えと対応を問う。

都市建設課 課長 災害が発生した場合、空き家についても災害対策基本法に基づいた対処が可能である。家屋は固定資産税納税通知書が届き納税されていることから、所有者との連絡は取れる体制にあると考えている。

質問 町長の考えを問う。

町長 空き家が増え続け、特定空き家に該当するものが出てくるようであれば、適切に対応していく。

学校での危機管理対応は 大丈夫か

なかむら みつこ
中村 充子 議員



教育長 危機管理マニュアルを用い事件等を
適切かつ迅速に対処する

質問 危機管理マニュアルは以前から作っていると思うが、内容について教えてほしい。

教育長

危機管理マニュアルは、学校保健安全法に基づき、全ての学校において作成が義務付けられている。本町では、こども園・小学校・中学校が、各年度の初めの職員会議等において「生命や心身等に危害をもたらす様々な危機を未然に防止するとともに、万一、事件・事故、災害が発生した場合に、被害を最小限にするために、適切かつ迅速に対処できるようにすること」を基本方針にして体制づくりを行っている。

学校安全に係る内容となるので、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全」の3領域を中心に構成している。

具体的には、
○不審者侵入

○子どものけが
○給食への異物混入
・食中毒発生時も含める

○交通事故

○火災発生時

○町内の工場事故発生時

○光化学オキシダント

○PM2.5

○台風・大雨・暴風等発生時
・風水害・土砂災害・雷発生時も含める

○地震発生時

津波発生時や河川氾濫時、さらには南海トラフ地震対策も含めてる

○弾道ミサイル発射、いわゆるJアラート

○危機発生時における心のケアに関する危機管理

こういった事を、内容項目ごとに、事前の危機管理や事後の危機管理の基本的な対応を定めている。

さらに、園や学校では、不審者対応の訓練や交通安全教室、地震や火災時の避難訓練など、様々な場面や時間帯を想定した実践的な

訓練を行うこととしている。

今回の事案を受け、基本的な対応方法や留意点についても、起こるかどうかわからない事故等についても備えることができるよう見直しも行い、安全教育・防犯教育や防災教育、危険回避等について、危機管理対応能力の強化を図っていく。



理想的な子ども園外の休憩用のベンチ

***高齢者のために
ベンチを**

質問 高齢者が和木農協から郵便局まで歩いて行くのが遠い。避難所辺りの歩道側に椅子を設置していただけないか。

課保健福祉

要望のあった中開遊園地には、この敷

地内の一步入ったところのフェンスのすぐ横に、青いベンチがあるのでご利用いただきたい。



中開遊園地の敷地内のベンチ

Q 一般向けの3回目ワクチン接種の方法は

うえだ じょうじ
上田 丈二 議員



保健福祉課長 高齢者から前回と同様に
申込の受付を開始する

質問 和木町での新型コロナウィルスワクチン接種3回目は、前回と同じように段階的におこなうのか。

課長 3回目接種に備えての大臣通知により、接種期間は、令和4年9月30日まで、使用ワクチンは追加接種の事業認定がなされたワクチンのみ、18歳以上を対象とする。一般町民向けの3回目接種は、高齢者から順次前回と同様に申込の開始を受け付ける。

質問 今回のワクチン接種では、ファイザー、モデルナ、両者のワクチン接種となるのか。

課長 ファイザー、モデルナ2社のワクチンが、ほぼ半分ずつ配分される予定であり、2社とも同じメッセンジャーRNAワクチンであり、効果は変わらない。

質問 2社両方あるという事でワクチン接種

に対しての町民の不安もあるが、説明は行うのか。

課長 どちらを接種しても同種のメッセンジャーRNAワクチンであり、町としても問題がないと積極的にPRしていく考えだ。

質問 3回目の接種に対する相談はどこで受けられるのか。

課長 保健相談センターで行っている。専門的な相談は山口県ワクチン接種専門相談センターを紹介している。

接種当日も保健師が相談を聞き取り、予診担当の医師が引き継いで相談に応じる。

質問 町独自の補助金として、病院や医療従事者、農業従事者等への支援を考えて頂けないか。

企画総務課長 臨時交付金の追加の決定があれば、町として出来ることを考えていく。

*** 高齢者対象の補聴器購入費補助**

質問 高齢者の方のコミュニケーションや社会参加や日常の運動が大切にされているが、高齢化とともに聴力の低下が弊害となっている。

保健福祉課長 高齢化社会に向けて補聴器補助の必要性は、今後高まると思われる。国や県の動向を注視しながら、事業展開の可否を検討していく。



自由に使えるスペース (図書館入り口横)

*** 高齢者が集える場所の設置を**

質問 高齢者のコミュニケーションづくりとして、気軽に誰でも自由に使える場所やお茶などが飲める場所等、集える場所としてのフリースペースの設置を検討できないか。



ちょっとひと休みに (文化会館ホワイエ)

課長 瀬田・関ヶ浜分館のロビーは自由に活用が可能となっている。

和木地区では、文化会館のホワイエは、管理人がおり、出入りは自由に飲食が可能、また図書館の入り口にスペースがあり、活用していただきたい。



インタビュー記事

あなたの地区を紹介してください

【自治会長さんに聞きました】 パートⅣ



- ①地区の特色や活動
- ②会長さんの趣味

【前組自治会】岡田 悦法 さん

- ①前組には2つの金融機関、1つのお寺が在り、大変便利の良い地区の1つと思います。その特色も合わせて、現在、町役場保健福祉課主導の「支え合いマップづくり」の活動に2つの自治体の1つとして参画しております。例年は「夏の集い（バーベキュー大会）」そして年末は「自治会忘年会」と子供たちと一緒に家族共々の交流を計って参りました。しかしながら、一昨年の新型コロナウイルスの発生以来、これらはすべて中止。全く寂しい限りです。コロナ収束後の次回に「乞うご期待!!」と言ったところです。
- ②ゴルフ、テニス、車の中での1人カラオケ!!



【蜂ヶ峯自治会】尾山 信雄 さん

- ①蜂ヶ峯自治会は69世帯の自治会です。コロナ禍で総会等会合は2年ほど実施できていません。しかし、自治会の皆さんから寄せられた意見をもとに、団地内道路の車のスピード注意喚起看板設置や不法投棄禁止看板の設置、ゴミステーションの網の老朽化更新等を実施してきました。より良い自治会とするため今後も継続していきたいと思っています。
- ②趣味はバーコン燻製（結構はまってます。）、キャンプ（冬キャンプも好きです。）、星景写真（天の川美しいですね。）、ドローン空撮（規制強化で泣きそうです。）とアウトドア派です。



【中組自治会】末弘 邦晴 さん

- ①中組は、こども園や学校が近いことから、若い方も多く住む地区です。三世帯交流事業として、秋祭りの日に子供会や女性会と連携した「子ども神輿」を巡行し、ぜんざいやお菓子を提供するなど、故郷の思い出づくりをしています。また、グランドゴルフや忘年会を開催し親睦を図っています。新型コロナウイルスが終息し、皆さんと再会して笑顔を見たいです。
- ②ウォーキングや登山（里山から日本百名山）などです。



編集後記

子育て世帯への臨時特別給付金は12月議会中に、現金で給付となりました。

和木町は、政府と同じく所得制限を設けての給付となっています。私は個人的には、高所得者の方を含めた全員に10万円を配ってほしかったと思っています。

全国的には人口減少とともに出生率も減っているなか、和木町では出生率が上がっています。子どもの声が聞こえるとなんとか楽しい気持ちになります。

子育てしやすい教育の町、これが和木町です。

これから和木町を担う若い方々、また将来を担う子どもたちに大いに期待しています。

（中村 充子）

発行責任者

議長 兼 本 信 昌

広報広聴委員長

灰 岡 裕 美

広 報 部

森脇 明美 中村 充子
上田 丈二 津島 宏保